

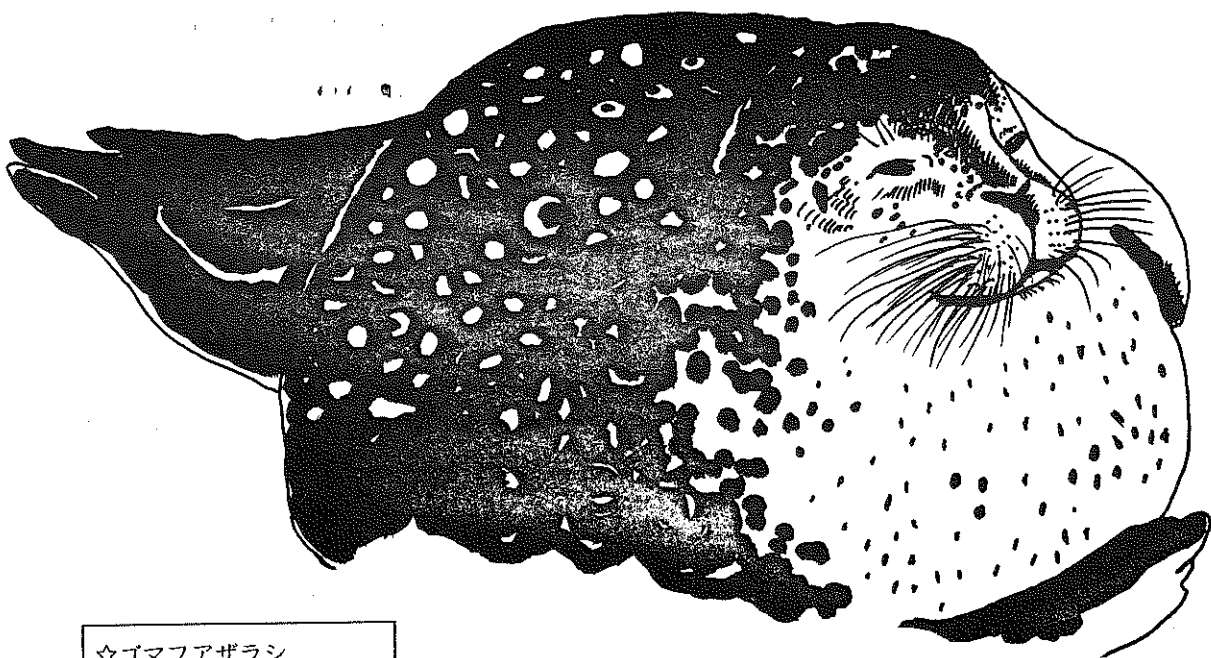
あさひやまどうぶつえんニュース

ASAHIYAMA ZOO NEWS



モユクカマイ

☆「モユクカマイ」とは
アイヌ語でエゾタヌキ
のことです。



☆ゴマフアザラシ

Phoca vitrina

アザラシは陽なたぼっこが大好きです。ぬれた体の毛を太陽の暖かみでかわかすと、キラキラ輝く銀色になります。その美しさを知っているのでしょうか、あまり器用ではない手（前あし）で毛の手入れをしています。冬至になり陽なたぼっこの時間も少なくなりました。アザラシは太陽の暖かみをおしむかのように今日も弱い陽ざしを受けていました。

☆目次

- 2.3 特集 「ツル」
- 4.7 傷ついた野鳥の応急処置
- 5 ゲンちゃんの追求コーナー
- 6 ポスト&クイズ
- 8 アメリカの動物園（その4）
- 獣医室から
- 9 飼育レポート「シロフクロウ」
- 10 飼育日誌

DEC. 23
1990
NO.



湿原や草原にすむ大型の美しい姿の鳥、ツルの仲間（ツル科）は、世界に4属15種分布しています。ツルはとても古いタイプの鳥で、今から約4000年前（新生代の初め）には、すでに地球上に現われていました。現在ほどの種のツルも生息地の環境の悪化のためその数が非常に少なくなり絶滅の危機にさらされています。

今年の特集シリーズは『鳥とり』です。

最後は4回は『ツル』です。

特に「北海道の鳥」・「タンチョウ」をクロスアップしました。

大型の水辺の鳥

全長約 140 cm

国の特別天然記念物

長い首

大きな声

数km先まで聞こえる。

気管内の空気の振動によって生じる。気管はとても長い。

ツルはダンスの名人

ツルの中では最高の踊手

尾羽にみえる？

3列風切羽は飾り羽となって白い尾羽をおおっている

雑食

なんでもたべる

- ・カツムリ
- ・ドジョウ
- ・タニシ
- ・カエル
- ・ミズ
- ・虫
- ・ヒ
- ・種
- ・ネズミ
- ・トウモロコシ
- ・木の根

長いあし

痕跡的な小さなみずかきがある

巣

直径1mの大きな皿状。ヨシでつくる。毎年同じ所で巣をつくる

卵

2卵 約1か月の抱卵

ヒナ

ふ化した日から親について歩く

タンチョウの保護の歴史と今

— タンチョウは江戸時代には日本各地にたくさんすんでいました。 —

タンチョウの保護の歴史は古く、1989年（明治22年）に北海道庁が捕獲の禁止をしたのが最初です。しかしもうこの時には本州はもちろん北海道でもほとんどその美しい姿をみることができず、絶滅したものと思われていました。

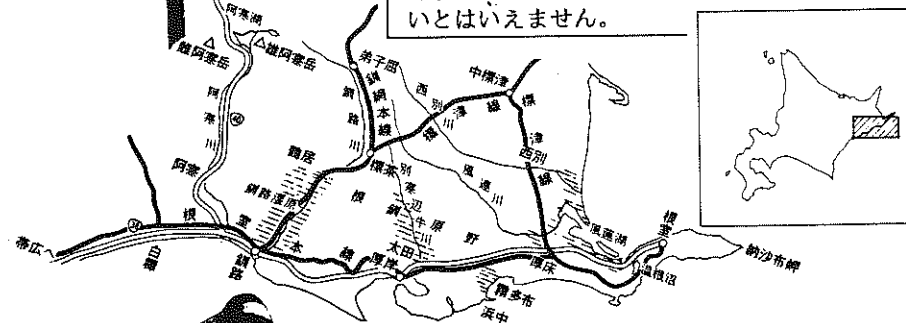
1924年（大正13年）に釧路湿原で10数羽の生存が確認されましたが、本格的な保護活動ができるようになったのは戦後になってからです。特に1952年（昭和27年）の大雪の年にトウモロコシでの餌付けに成功してからは生息数も飛躍的に増え保護活動も軌道にのり1967年（昭和42年）、国の特別天然記念物にも指定されました。

最近では毎年3~400羽の数が確認され、生活の場所も釧路湿原ばかりでなく、十勝平野、網走、根室、遠くは国後島にまで広がっています。しかし、生息地の開発などによる環境悪化でタンチョウの将来ははっきりと明るいとはいえません。

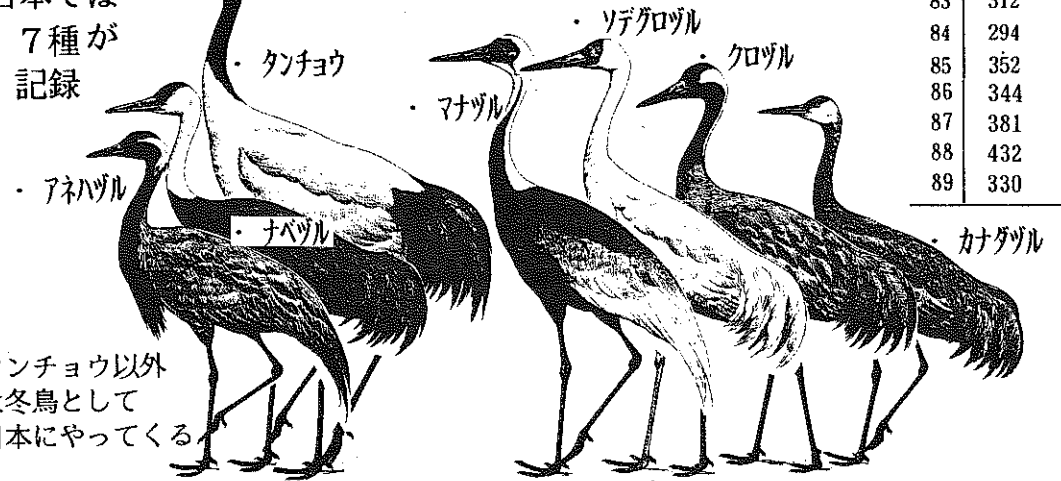
タンチョウの生息数

年度	生息数		
	成鳥	幼鳥	合計
1925			33
53			42
54			52
55			61
56			76
57			92
58			125
59			139
60			172
61			175
62	164	20	184
63	128	19	147
64	137	17	154
65	148	24	172
66	144	26	170
67	176	24	200
68	147	24	171
69	188	24	212
70	146	33	179
71	129	18	147
72	195	27	222
73	204	29	233
74	221	32	253
75	180	14	194
76	180	40	220
77	229	28	257
78	195	19	214
79	235	36	271
80	229	38	267
81	267	28	295
82	285	35	320
83	312	33	345
84	294	33	327
85	352	32	384
86	344	39	383
87	381	43	424
88	432	53	485
89	330	26	356

タンチョウの里
釧路湿原



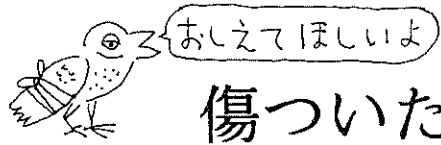
☆日本では7種が記録



●タンチョウ以外は冬鳥として日本にやってくる

ツルは何年生きるか？

鶴は千年、亀は万年といわれるくらい、ツルは長生きをする動物の代表とされています。しかし、確実な飼育記録としては、ソデグロヅルの61年8か月というのが最長記録のようです。一般には70~80年ほど生きるといわれています。ちなみにカメの長期飼育記録はアルダブラソウガメの152年間です。



傷ついた野鳥の応急処置

動物園には、毎年 200羽以上の傷ついたり弱ったりした野鳥が保護されて持ち込まれます。保護してすぐに持ち込まれるもの、数日たってから持ち込まれるものいろいろです。中には何か食べさせようと、お米をむりやり食べさせられたキツツキ、ハチミツを飲まされたフクロウなど、本来は食べないものを食べさせられて持ち込まれるもの、包帯でぐるぐるまきにされて持ち込まれるもの、これらはたいてい死んでしまいます。今日の特集は傷ついたり弱ったりした野鳥を保護した時、とりあえずどうすればいいのか、についてです。



1. 鳥のつかまえ方

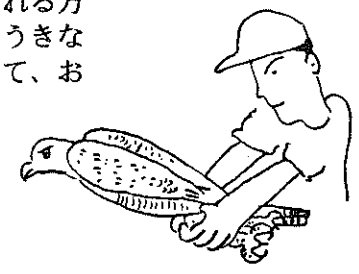
・小鳥の場合 ...スズメくらいの大きさの小鳥は健康なものでも、ちょっと強くにぎるとそれだけで死んでしまいます。ひとさし指と中指のつけ根に首をはさんで、そっと手のひらでつつむ様ににぎります。ハトくらいの大きさでも両手で、やさしくつつむようにつかまえます。



・水鳥の場合 ...両手で上からやさしくつつむようにつかまえます。

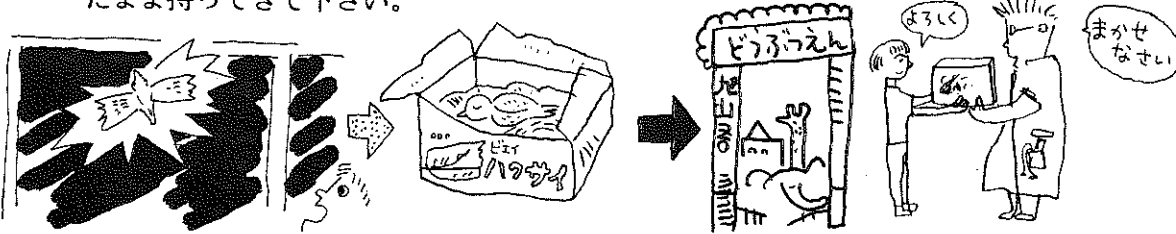


・ワシ、タカ、フクロウの場合 ...口ばしでかまれるより、足でつかまれる方が、痛いし危険です。虫とり網やほうきなどで上からおさえて、両足をのばして、おさえます。



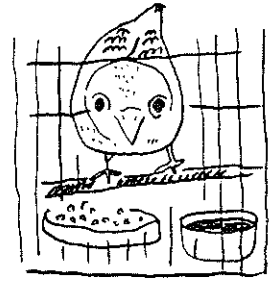
2. どんな入れものに入れればいいのか?

・家の回りで動けなくなっている野鳥の場合ほとんどが、窓ガラスなどにぶつかったものです。脳しんとうや肺出血などを起こしている可能性が高いのです。とにかくどんな場合でも鳥を安静にしてやるのが第一です。鳥があばれないように、できるだけ小さな箱、たとえば、ティッシュペーパーの箱、ダンボール箱などが良いでしょう。そしてくらい所に入れてあげましょう。出来れば、あたたかい場所が良いでしょう。保護した日、又は翌日までに動物園にもってこれる場合は、エサや水は与えずに箱に入れたまま持ってきて下さい。



3. すぐに動物園に持ってこれない時 - とりあえず一晩はそっとしておきます。 -

・小鳥の場合 ...2~3日何も食べないと大抵死んでしまいます。エサを与える前に、その鳥の種類と何を食べるかを調べます。鳥を鳥カゴに移して、静かな所に置きそれぞれの鳥に合ったエサを入れましょう。種類がわからない時はつぶ餌、くだもの、アオムシ、ミミズ等いろいろなエサを入れてどれを食べるかしらべて下さい。水飲みも忘れない様に...



・水鳥の場合 ...パンやハクサイなどの野さいをこまかく切って与えます。必ず、水を一しょに与えます。

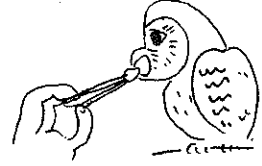


・ワシ、タカ、フクロウの場合 ...ダンボール箱の中にブタ肉等の生肉を小さく切って入れておきます。



4 強制的にエサを食べさせるには?

・エサを入れておいても食べない場合、衰弱がひどくて食べない場合等は強制的にエサを食べさせます。この時保護した鳥が何を食べるのかを必ず確認しておいて下さい。口ばしを開く時力を入れすぎると口ばしを折ってしまいます。又この時目にさわったり目のまわりを汚したりしないよう注意しましょう。特にエサを気管に間違っ入れてないよう注意しましょう。ワシ、タカ、フクロウの場合かまれたりしてケガをする可能性があるため、エサをピンセット等ではさみ、口もとに近づけ、かじりついてきたら中におしこんでやります。
・水をのませる時は、口を開けて水を流し込むと気管に入って死んでしまうので、口ばしのへりに水滴をつける様にのませます。



お水がおいしい

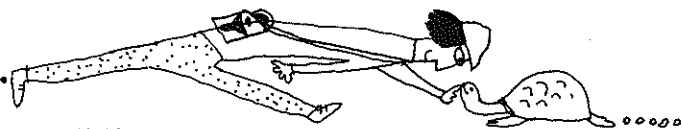


5. 治療について

実は保護された野鳥をたすけるための一番のポイントはエサを自分で食べてくれるようになるかどうかです。翼の骨折ですぐに死んでしまうなんてことはないのです。かえて傷口に赤チン(マキローム)をつけると、それをなめて水銀中毒になったり、包帯をまいて動きをとれなくすると、これが原因でショックを起こしてしまったりします。治療はヘタに行なわずに、出来るだけ早く動物園に持ってきて下さい。

カッコウを保護して、小さなタカと間ちがえたりといった様に鳥の種類を見分けるのはとてもむづかしい事です。わからない事があつたらどんな事でも近くの動物園に電話してきて下さい。





◎変わりつつあるアメリカの動物園水族館

アメリカの動物園水族館の関係者は、動物園水族館の最も重要な役割と課題として、「種の保存」と「環境教育を中心とする教育活動」をあげ、実現に取り組んでいます。

日本では、まだまだ色濃く残っている「珍しい動物を集めて檻に入れて見物させる」という古くさい動物園水族館の考え方ではなく、動物園水族館を「生物科学の博物館」と位置づけ、「動物たちの生息する環境そのものを再現」して「動物たちがその環境の中で果たしている役割、生態を理解させる」ことを目的とするバイオーム展示の理念を、壮大な計画をもとに、莫大な建設費をおしげなくつぎ込んで実現して行く強い意志と信念、その具現化を支える確かな科学的データの積み重ねによる高いレベルの技術があります。

熱帯雨林のスコールまで再現したジャングルワールド（ニューヨーク・ブロンクス Zoo）やトロピカルワールド（シカゴ・ブルックフィールド Zoo）、広大なサバンナ展示（ウッドランドパーク Zoo、サンディゴ・ワイルドアニマルパーク）、ツンドラ地帯の再現（ポイントデファイアンス Zoo）など数え上げればきりがありません。

一方、この生息環境の再現は稀少動物種の保存、飼育と繁殖環境の改善、繁殖群の確立にも極めて有効に作用しています。例えば、もともとはサンディゴ Zooの繁殖基地としてつくられ、その維持費捻出のため公開されて、その広大なサバンナの感動的なパノラマ景観とアフリカ現地でもなかなか観ることができない貴重な動物たちが子どもを育てる姿を観ることができると評判を呼び、年間 200万人もの観光客を集める観光地になってしまったサンディゴ野生動物公園や、ウッドランドパーク Zooのゴリラ群展示、ニューヨーク・ブロンクス Zooのヒマラヤハイランドのユキヒョウ展示などは展示のディスプレイがそのまま理想的な飼育繁殖環境をつくり出している好例としてあげることができるでしょう。

これらの施設を観て、アメリカの動物園は、今変わりつつあるなという実感でした。

◎教育活動について

アメリカでは、「動物園水族館は、子どもたちの成長にとって重要な施設である」として生物科学の教育施設としての位置づけを明確にしています。各園館では、それぞれ独自の教育システムとカリキュラムを持っています。

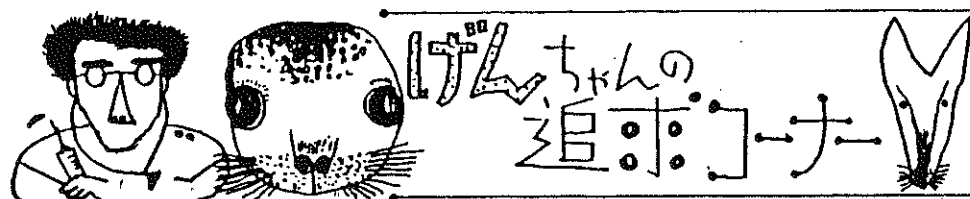
この教育活動を支えているのがドーセントと呼ばれて飼育や園内整理などのボランティアと区別された教育専門のボランティアです。各園館は数ヶ月から2年間の独自の講習制度（有料の場合もある）をもってドーセントを育成しており、園の全スタッフより多い300 人ものドーセントを登録している例もあった。

ニューヨーク・ブロンクス Zooでは小学校一年生から高校生までスクールバスを連れて訪れ、数十人のドーセントがそれぞれ分担して学習していたし、シカゴの動物園では、フラミンゴとインコの頭部の模型を用意したドーセントがクチバシの動きの違いを入園者に熱心に話しかけていました。リンカーンパーク Zooの子ども動物園では、ヘビやウサギを抱いたドーセントを子どもたちが取りまき、ファーム Zooでは山羊の乳しぼりを体験させていました。

バイオーム展示は、動物をその生息環境とのかかわりで理解させようとする意図にもとづいて発想された展示方法で、これこそが生きた教育施設の感があります。シアトル水族館のように、生態すなわち「すみわけ」、「共生」、「擬態」などテーマによる展示とシャケの発生、放流、回帰、産卵までの展示などまさに教育施設として優れた成果をあげている例もあります。

動物園水族館の存在の基本を「教育と学習」とする考え方は今後日本における動物園水族館にも極めて重要な課題と思います。

（菅野）



Q: シマウマのシマはたてじまですか、それともよこじまですか？（九州市東旭川・安田とも子）

A: シマウマのたてじまはライオンなどの敵の目をくらます迷い服みたいなもんなんだよ。動物の多くは赤や黄、みどりといった色がほとんどわからない目の構造をしているから「白黒テレビ」の世界にいるようなものなんだ。僕たちが見るとシマウマはずい分自立つように見えるけど、ライオンが見るとかげろうにゆれるシマウマの群や月あかりの下のシマウマの群は木や草むらの中にとけこんでよく見えないんだろうね。



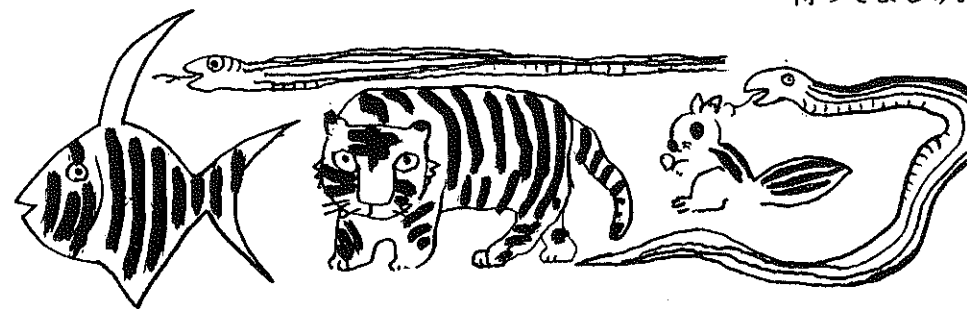
なるほど。でもちょっと待って下さい。もしシマウマが後ろ足で立ち上がったら、あのたてじまはよこじまになってしまいますね。全日本のラグビー選手がきている赤と白のストライプのジャージーはよこじまですね。では選手が四つんばいになったら……たてじまですか？

たねを明かすと実はシマウマのしまはよこじまです。頭とおしりを結んだ線つまり体じくに対して、直角のしまはよこじま、平行のしまはたてじまなのです。シマウマやトラなどはよこじま、シマリスやシマヘビはたてじまです。

それじゃあ、シマウマの手、足のしまはどっち？……手、足のじくに対して直角だからよこじまですね。では、おさらい。エンゼルフィッシュのシマはどっち？ ……簡単ですね。

それでは、小さな疑問、大きな疑問、どんどん送ってチョコ！！

待ってましゅ。



採用の方には動物園自作のエンゼルフィッシュのキーホルダーをさしあげます。



みなさん どうも ありがとう

今年はみなさんから動物たちへ、こんなにたくさんのプレゼントがありました。本当にありがとうございました。

動物たち・職員一同

ジャガイモ	1588.75	米	80.00	青米	20.00
カボチャ	598.00	モチ米	50.00	カボチャのタネ	11.30
トウキビ	210.20	リンゴ	50.00	ソバ	10.00
人参	156.50	ムギ	39.00	小豆	6.00
クルミ	144.50	ドングリ	31.50	パン	3.00
ヒマワリ	110.70	大豆	27.00	落花生	0.30

(単位 kg)

クイズコーナー

Q. じゃ、算数の問題だよ。

□の中に数字を入れてね。

ゴリラの右手の指の数 - ヒトの右手の指の数 = A

キリンの首の骨の数 - ヒトの首の骨の数 = B

ゾウのおっぱいの数 - ヒトのおっぱいの数 = C

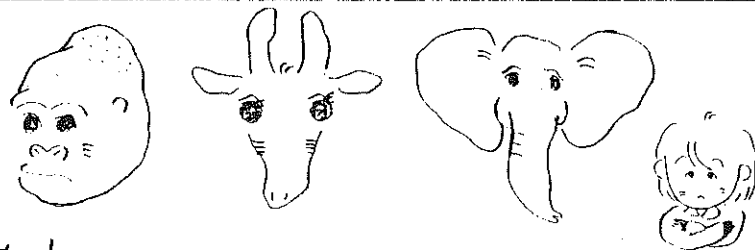
では、 $A + B + C = \square ?$

あたる! あたる!

正解者の中から
抽選で3名様に
旭山動物園特製
“エゾシカの角キーホルダー”
が当たります。

応募方法
はがきに「答えと住所、氏名、年令、電話番号」を書いて旭山動物園モユク・カムイ クイズ係までお送りください。

*応募×7月 1991.2.28



前号 (No.22) のこたえ

正解は C でした。

< 正解率 27% >

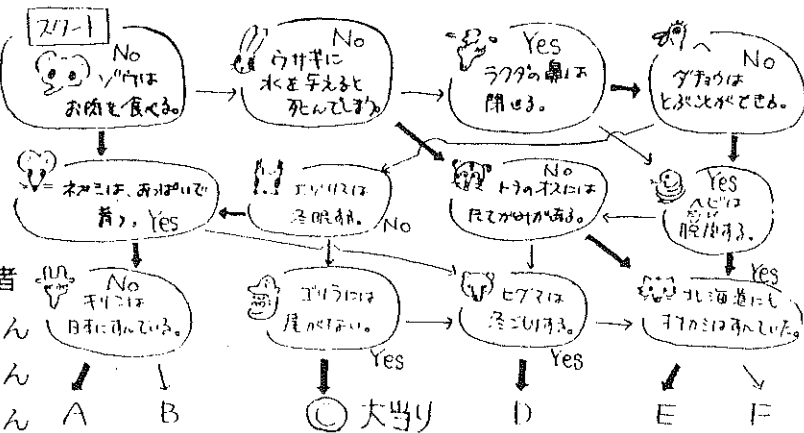
おめでとう!

エゾシカの角キーホルダー当選者

旭川市 中村 亜衣さん

神戸市 かやしろうたろうさん

松山市 目戸 美保子さん



飼育研究レポート

旭山ZOOのきこ金ポ

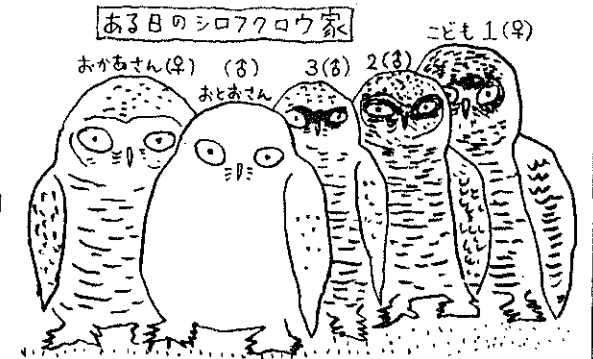


シロフクロウは、北極圏に棲息する大型のフクロウですが、冬期間まれに北海道に飛来します。

シロフクロウの繁殖

その名のとおりオスは純白ですが、メスは若干黒い縞模様がありオスより大きく堂々としています。

当園で飼育されている個体はいずれも道北で保護されたもので、昨年より産卵をはじめ、「今年こそは」との期待にこたえ無事3羽が孵化し順調に育っています。



繁殖行動はオスがメスへのエサをわたすことから始まり、その後メスが地面に浅く穴を掘り営巣が始まります。5月17日に始めの1個を産卵し、その後1日おきに合計8個産卵しました。

卵はニワトリの卵くらいの大きさで、抱卵はメスだけが行ない、初卵からすぐに抱き始めます。ふ化日数は33日でした。産卵が1日おきでしたので、ふ化も1日おきでした。3羽までは順調でしたが、4羽目がふ化する日に大雨が降り巣が水浸しになり残った卵は残念ながらふ化しませんでした。

ふ化したばかりのヒナは純白ですが、徐々に黒っぽくなりふ化後1か月ほどで綿羽から本羽に替わり始めると、又、だんだん白変してきました。ヒナの成長は早く、ふ化後2か月程でオス親と同じ位の大きさになり、羽の色からヒナの性別はメス1、オス2とわかりました。

現在では、今年生れたメスの体はオス親よりはるかに大きくなり、そろそろ親子を分離して来期の繁殖を考えなければならない時期になりました。(牧田)



アライグマの去勢

アライグマの赤ちゃんは、とてもかわいいので人気があります。ところが一回に5頭くらい生まれ、次の年の春にはもう子供を生めるくらい成長します。生まれた子供のもらいがあればいいのですが、どこも同じでもらいてが見つかりません。ほうっておくと大変なことになります。そこで、雄はすべて去勢することにしました。来春からかわいい仔アライグマは見られませんが、わかって下さい。ゴメンナサイ・・・(元)



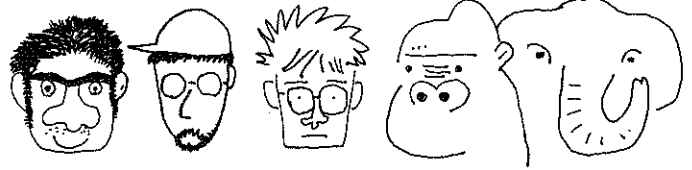


飼育日誌



《平成2.10.10 12.20》

- 10.10 エゾシカ角切り
- 10.15 エゾシカ(メ)外傷、入院
- 10.21 '91さようならウオークラリー
今年度の開園終了
- 10.22 クサガメ市民より受贈
閉園準備作業開始
- 10.24 ガン・カモ室内へ移動
- 10.27 エゾリス幼獣、コクシジウム症
- 10.30 飼育実習「教育大付属中学校」
- 11. 3 第154回飼育研究会
「ハリアヒツ飼育経過と出産」辻栄
- 11.11 コクチョウ1羽骨折
札幌市円町動物園と動物交換
エゾリス6頭←→オシドリ15羽
- 11.12 コハクチョウ保護
散弾で撃たれた疑い、散弾はなし
- 11.16 サル山に風邪流行
- 11.17 エゾシカ退院
- 11.24 オオタカ、ノスリに脚環(マキグ)
- 11.25 フクロウ類に脚環(マキグ)
カイウサギ、コクシジウム症
- 11.26 第38回動物園飼育技術者研究会
「旭川で発見されたカワウソ」小菅
「ホッキョクグマの繁殖」深坂 於：仙台
- 11.27 ゴリラ(マリ)外傷
- 11.30 ウオンバット、趾瘤症手術
- 12.10 アフリカゾウ倒れる 17;回復の兆し



編集後記

雪のない日が続いておりましたが、とうとう根雪のなってしまったようです。キリンやゾウはのんびりできる期間が長く、ゆったりしているようでしたが、ホッキョクグマなどは閉じこめられた部屋のなかで凍らず、茶色になって出てきました。本格的に雪が降ってなんとなく安心してはいる様子です。

暖冬といっても、こちらからどんどん寒くなります。質の悪いインフルエンザも流行っているようです。(サル山に感染してしまいました)みなさまお元気でよいお正月をお迎えください。



お知らせ

◎モユク・カムイの申し込み方法

72円切手を同封して、旭川市旭山動物園・モユクカムイ係までお申し込みください。続けて読みたい人は72円切手を5枚くらい、送ってください。発行のつど郵送します。

飼育動物数

(12月1日現在)

哺乳類	42種	237点
鳥類	85種	447点
爬虫類	5種	35点
合計	132種	719点

モユク・カムイ

No.23 平成2年12月25日

発行所 旭川市旭山動物園 078 旭川市東旭川町倉沼 0166-36-1104
 発行人 菅野 浩 編集委員 小菅正夫 阿部 寛 坂東 元

